

パソコンいわくら教室新聞

先月のコラムでも触れました「チャットGPT」。膨大なネット上の情報からの確と
思われる答えを返してくれる優れたものです。実際に使ってみました。

チャットGPTとは？

チャットとは「おしゃべり」という意味で、ネット世界ではオンラインを通じて短い会話をタイムリーにやり取りする仕組みを言います。皆さん馴染みの「LINE」もその一つです。

LINEなどで会話を行う相手は、オンラインで繋がっている向こうの友達などですが、チャットGPTでは、AI（人工知能）が相手です。膨大に蓄積されたネット上の情報から、問われた内容に応じ、瞬時に情報をまとめて会話形式で答えを返してくれます。正に会話をしているように、2回3回：と会話のキャッチボールができます。



英語表記ですが質問は日本語でOK

トAIを利用した検索も可能になります。では、今までの検索とはどう異なるのでしょうか。

今までは、先の情報を得る場合のキーワードとして「カロリーオフ」「パウンドケーキ」「レシピ」などと入力し、検索されたページから適切なものを探す必要がありました。

チャット検索では、前述のように文書として検索ワードを入力し、AIに尋ねます。すると同じような回答を返してくれます。違うのは引用した情報のページが分かることです。（リンクで表示されます）

今はまだまだ完全にはできないとはいえ、どんどん改善されていくことでしょう。AIです。

それに、今までは質問事項は文字入力する必要があるありますが、今後は音声で入力、音声で返答…なんて機能もきっとできるはずです。

まだ試用段階と思われる、まだ一般的には使えませんが、希望すれば使用できるようになります。（BININGのトップページから「順番待ちリストに参加」として下さい。）



表示結果から探す

例えば「カロリーオフのパウンドケーキを作りたい」と聞くと、「砂糖の代わりにステビアや果汁などを使う」などと代替え品を答えてくれます。続けて「レシピは？」と問い返すと、作り方を答えてくれます。相手がAIとは忘れてしまいうです。

質問

更に質問

回答

回答

ネット検索との関連

インターネットの情報を調べるときに、ネットの情報を表示する「ブラウザ」を立ち上げ、「Yahoo」や「Google」などの検索ページを表示し「検索ボックス」にキーワードを入力し、その情報ページを探します。これは現在行っている方法です。が、今後はこれが一変しそうです。

マイクロソフトが提供している検索ページ「Bing」に「チャットGPT」が組み込まれています。今まで通りの検索もできますが、チャット

質問

回答

質問

回答

質問

回答

<https://pc-iwakura.com/>

See you next month

